

2021年度
第14回

あおもり産木造住宅 コンテスト

あおもり産木造住宅コンテスト作品集

最優秀賞 1952HINOKIYA 一級建築士事務所 & (有)赤穂工務店「根城の家」

優秀賞 企業組合県木住「岩木山と林檎畑と木の家と」

優秀賞 (有)久保工務店「迎える家」

新築賞 (有)大坊建設「星ふる家」

審査員特別賞 (有)岩木建設「太鼓梁のある家」

リフォーム賞 企業組合県木住「古さを活かした快適空間」

青森県産材を使うことでのメリット

メリット1 二酸化炭素の排出を減らす

海外や県外からの輸送に比べ、運搬距離を大幅に短縮でき、木材を運ぶ船やトラックが運搬の際に排出する二酸化炭素を軽減できます。

メリット2 木を使うことで、森林が守られ育てられる

森林は、その土壌が雨水を吸収することで、洪水や土砂崩れなどの災害を防いでいます。また雨水を浄化し、海を豊かにするなどの重要な役割を持っています。成熟期に入った木は伐採して利用し、また新しい木を植えて、森林のバランスを整えることで、地域の森林を守り、育てていくことができます。

メリット3 地域の木材産業の活性化につながる

地域で育った木を使って家を建てることで、青森県の気候・風土に合った快適な家づくりができます。また森林を守り、育てていくことや、木材の生産・加工、住宅建築など、地域の木材産業の育成や発展につながります。

最優秀賞 1952 HINOKIYA 一級建築士事務所と 赤穂工務店が受賞

優秀賞は県木住と久保工務店

第14回あおもり産木造住宅コンテストの表彰式が令和4年1月19日、県庁で開かれた。応募作品「根城の家」で県知事賞(最優秀賞)に輝いた1952 HINOKIYA 一級建築士事務所(八戸市の椛澤卓馬代表と)と赤穂工務店(八戸市の赤穂直樹社長に対し、三村申吾知事が知事賞の県産のスギとヒバで作られた桶を贈呈した。また、最優秀賞の表彰状を、コンテスト主催者であるあおもり産木造住宅



表彰状を手に(前列左から)土川和幸事務(大坊建設)、佐藤代表、椛澤代表(知事賞の桶)、赤穂社長(知事賞の桶)、久保社長、岩木社長

コンテスト実行委員会の駒井修一会長が手渡した。

優秀賞は企業組合県木住(青森市)と、(有)久保工務店(南部町)が受賞した。また、青森市の森林博物館で開催された『青い森のキコリ写真展』(令和3年11月1日から11月30日)において、コンテスト応募作品パネルを展示し、来場者に「住んでみたい家」へ投票してもらう一方、Googleフォームによるインターネット投票を合わせて実施し、新築部門及びリフォーム部門それぞれにおいて最も得票の多かった作品に授与される「新築賞」と「リフォーム賞」は、「新築賞」が(有)大坊建設(田子町)、「リフォーム賞」は企業組合県木住がそれぞれ受賞した。また審査員特別賞には(有)岩木建設(十和田市)が選ばれた。

コンテストの対象となる住宅は、「新築部門」については青森県産材認証推進協議会が認証する県産材を概ね0.1㎡/㎡以上使用した新築の一戸建てで、募集に対し6作品、また「リフォーム部門」には2作品の応募があった。審査に当たった県建築士事務所協会会長の加藤彰審査委員長が、「審査委員による応募作品の書類審査を行い、上位4作品について外観および内観の現地審査をし、最優秀賞1



三村知事から県知事賞記念品の県産スギ・ヒバ製の桶を受け取った赤穂社長(左)と椛澤代表(右)

作品、優秀賞2作品、審査員特別賞1作品を選定した。また、一般投票と、今回から実施したインターネット投票とを合計して新築賞とリフォーム賞を選定した」と審査経過を報告した。

三村知事はあいさつで、「今回で14回を迎えたコンテストも、毎回毎回斬新で、いっそう創意工夫された造りの住宅が見られ、県産材による家づくりにまい進する工務店の方々の努力に感謝するし、青森の山の木で建てた家に住んでこそ、同じ地域に暮らすという意識で結び付くようになるのだと思います。県産材を使ってこんな素敵な家ができるのだ、ということをより広く県民に知っていただくためにもコンテストを続けていきたいと思います」と述べた。

最優秀賞に輝いた1952 HINOKIYA 一級建築士事務所の椛澤代表は、「祖父が製材業を始

めた1952年を記念して事務所に「1952」を付けました。私は幼少から製材所のヒバのにおいをかいで育ちましたから、良さなども理解していますし、青森の木といえばヒバですが、かといってヒバばかりを使うと室内が「重い雰囲気になってしまうので、スギなどもうまく合わせて使っていきたい」と述べた。また、赤穂工務店の赤穂社長は、「今後も県産材の良さを、大工の技で生かした家づくりをしていきます」と語った。

優秀賞受賞の企業組合県木住の佐藤時彦代表は、「地元の木の家と、薪ストーブをセットにした雪国の暖かい暮らしを提唱していきます」、また久保工務店の久保直樹社長は、「山で木を伐るのころから始まる「施工参加」の家づくりを増やしていきたい」と抱負を述べた。

一方、審査員特別賞を受賞した岩木建設の岩木社長は、「今回受賞した住宅には、お施主様の要望で、お施主様の祖父が入植した当時に植えた防風林のスギを太鼓梁に生かして建てました。家族の歴史を引き継げるのも「県産材の家」の魅力です」と述べた。

最後に駒井会長が、「県産材の家づくりを進める工務店があり、木材を提供する林業関係者の協力があり、建てる多くのお客様たちに支えられて住宅コンテストは続いてきました。『青森に暮らす人は青森の木の家に住もう』を合言葉に今後も展開していきます」と締め括った。

最優秀賞
作品

根城の家



ヒバやスギなど青森県産の木材をふんだんに使ったリビング

「無垢の木」など自然素材をふんだんに使った優しくやわらかな住宅です。フローリング、構造材、家具、階段、外壁には「青森ヒバ」や「青森スギ」など、あおもり県産の木材を使用しています。

間取りは、回遊動線が複数

重なり合っているので各部屋へのアクセスを複数選べ、またその回遊動線は「生活の流れ」だけでなく「風の流れ」「光の流れ」もつくり出し、家中隅々まで明るく心地よい空間にしています。

講評

この作品は、県産材を適材適所に使用した、シンプルでコンパクトな住宅となっています。

構造材は、木材それぞれの特徴を活かして、土台に青森ヒバ、梁にアカマツ、柱にスギを使用し、青森県産材の良さを活かせるように使用しています。

内装では、1階床に香り高い青森ヒバ、2階床に足触りのよいスギを用い、住まい手だけでなく招いたお客様



招いたお客様が快適に過ごせるように無垢材で仕上げた空間

も快適に過ごせるように工夫されているほか、建具や家具も地域の木を用いて地域の職人が製作したオーダーメイド品で、県産材の積極的な利用にも配慮されています。

県産材住宅としてのスタンダード性や、住まい手の生活スタイルに合わせた平面プランが評価され、最優秀賞に選出されました。

(加藤委員長)



- 建築場所／八戸市
- 県産材使用量／10.87㎡
- 県産材使用率／52.46%

■設計者(応募者)／1952HINOKIYA一級建築士事務所
住所／八戸市柏崎三丁目8-13
TEL.0178-43-3848 FAX.0178-41-1002

■施工者(応募者)／(有)赤穂工務店
住所／八戸市石手洗字久保6-10
TEL.0178-96-5510

■木材調達先／上北森林組合
TEL.0176-69-1200

優秀賞
作品

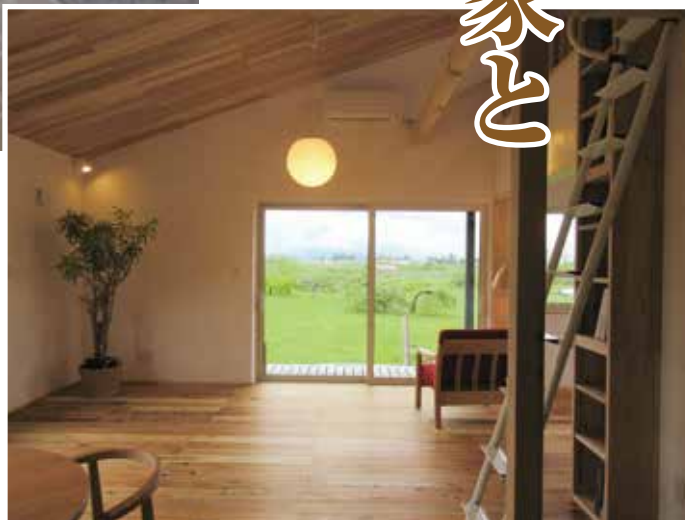
岩木山と 林檎畑と木の家と

雄大な岩木山と広がる林檎畑。
室内は片流れ屋根に合わせた吹
き抜け空間で家全体がつながって
おり、開放感のある造り。床と天井
にはスギを使い、夏の日差しをや
わらげる効果があります。壁は青

森県で水揚げされたホタテ貝の粉
末を利用した漆喰仕上げ。
玄関土間に設置した薪ストーブ
が、ロフトの秘密基地のような空
間も暖めます。
(詳細38ページ)



家全体の暖房をまかなう玄関土間に設置した薪ストーブ



雄大な岩木山と広がる林檎畑が望める開放感あふれるリビング

講評

この作品は、「岩木山を眺めることができる家」という施主さんの希望を叶えた、県産材を使用した高気密・高断熱住宅となっています。

構造材をはじめとして、内装やリビングへとつながるウッドデッキにも県産材を多用しているほか、外壁には耐久性のある焼きスギを使用しており、今後の経年変化を楽しみなものになっています。

施主さんの希望を叶えつつ、快適な住宅である点が評価され、優秀賞に選出されました。

(加藤委員長)



- 建築場所／弘前市
- 県産材使用量／11.6㎡
- 県産材使用率／33.23%

- 設計・施工者(応募者)／企業組合県木住住所／青森市浪岡大字徳才子字福田60-2
TEL.0172-55-7793 FAX.0172-55-7559
- 木材調達先／青森県森林組合連合会
TEL.017-723-2657

優秀賞
作品

迎える家

「私たちの『終の棲家』は青森で育った木の平屋——お施主様のその要望に、自社製の「南部赤松」の床材を張って心えました。1年で一番木が締まるといわれる極寒の1月に伐り出した原木を、水分を乾燥させるバイオ乾燥技術で水分量13%以下に乾燥させ、厚さ30mmの床材に製材したものを床に張りました。

樹齢70〜100年以上の南部赤松が製材され、1軒の家になるまでのストーリーをお施主様に現場でご覧いただき好評でした。

(詳細34ページ)



壁にはあえて節のある「南部赤松」を使用している



厚さ30mmもある自社製の「南部赤松」の床材が敷き詰められたリビング

講評

この作品は、地元の木をふんだんに使った、まさに訪れる人を「迎える」住宅となっています。

床材に自社製の30mm南部アカマツを全面に用いており、歩くと無垢材の温もりが感じられる造りとなっているほか、キッチンの水回りにはタモ材を使用し、木材の柄あわせにも気を配るなど、木の使い方にこだわりが感じられます。バリアフリーにも配慮されており、施主さんの満足度も非常に高い点が評価され、優秀賞に選定されました。

(加藤委員長)



- 建築場所 / 八戸市
- 県産材使用量 / 33㎡
- 県産材使用率 / 94%

■ 施工者(応募者) / 南久保工務店
住所 / 三戸郡南部町大字杉沢字木戸口18-1
TEL.0178-84-3797 FAX.0178-84-3812

■ 設計者 / 南柳計画設計
住所 / 八戸市大字鮫町字小長根31-7
TEL.0178-34-3949

■ 木材調達先 / 南志田林業
TEL.0176-25-1683

新築賞
作品

星ふる家

建築地は高台のリンゴ畑の向こうに山が見える場所です。お施主様のお気に入りの景色を生かす工夫をしました。サンルームは窓を大きくし、家の中に景色と光を取り入れられるようにしました。夜にはトップライトから星が見えます。

内装は、白く明るい空間にするため全体に白い漆喰壁で仕上げました。構造材は隠れていますが、柱は直径30cm以上の杉の丸太から芯去りで4寸角を伐り出しました。(詳細50ページ)



白い漆喰壁で仕上げられた明るい空間のリビング



家の中に景色と光を取り入れられるように窓を大きくしたサンルーム



■建築場所／三戸町
■県産材使用量／22.45㎡
■県産材使用率／84.08%

■施工者(応募者)／(有)大坊建設
住所／三戸郡田子町大字田子下田子69-4
TEL.0179-32-3580 FAX.0179-32-3582

■設計者／ken-ken(有)一級建築士設計事務所
住所／横浜市中区海岸通4-24
創造空間万国橋SOKO 301-B
TEL.090-7000-1699

■木材調達先／(有)大坊建設
TEL.0179-32-3580

講評

この作品は、青森県産材を手刻みで加工して建てられた、高気密・高断熱の平屋建て住宅となっています。

構造材として、柱には通常より太い4寸の県産スギのほか、梁には唐松を使用しており、今後長きにわたって家を強く支えていくことが期待されます。

一般投票においては、「空間が広くゆったりしている」、「日当たりが良く住みやすそう」、「室内の白い内装がキレイ」という声が多く、新築賞に選出されました。

(加藤委員長)

審査員特別賞
作品

たいこばり 太鼓梁のある家

父と母がこの地に入植し、荒れた土地を耕して生計を立てた土地。冬の八甲田からの吹き下ろしの風雪はとても寒く体に滲みる。

昔、風よけに家の西側に防風林として杉が20本程植えられた。父が他界し、ひとりになった母に暖かい家で過ごしてほしい一心で新居を建てる決意をした。開墾時に風よけに植えられた杉は50年経ち、家を建てる材料としてはちょうど良い太さになっていた。

リビングの天井に架かる8mの2面おろしの太鼓梁が強く美しい。(詳細18ページ)



リビングと続き間になっている仏間

講評

この作品は、かつて防風林として植えられていた樹木を有効に活用し、バリアフリーにも配慮された平屋造りの住宅となっています。

構造材として、土台にヒバ、柱・桁・梁などにスギを使用し、頑丈な造りにしているほか、リビング天井にはスギを2面おろしにした大きな太鼓梁を構えています。

また、南面の下屋には耐久性の強いクリを使用するなど、樹種の特性を活かした使い分けについても工夫されている点が評価され、審査員特別賞に選出されました。

(加藤委員長)



■建築場所／七戸町
■県産材使用量／16㎡
■県産材使用率／40%

■施工者(応募者)／(有)岩木建設
住所／十和田市大字洞内字井戸頭175-1
TEL.0176-27-2906 FAX.0176-27-3259

■設計者／いわ木の家設計事務所
住所／十和田市大字洞内字井戸頭175-1
TEL.0176-27-2906

■木材調達先／上北森林組合
TEL.0176-69-1200



2面おろしの太い太鼓梁がかかるリビングの天井

リフォーム賞
作品

古さを活かした快適空間

住宅の骨格は変えず、断熱補強・樹脂サッシ・床・壁・天井の張り替え、屋根葺き替え、外壁の再塗装を行いました。

一番の変化は、和室1室を薪ストーブを楽しむ土間にしたこと。縁側と廊下も取り込み、土間床には玄昌石(粘板岩の一種)、周りを囲む床にはヒバを張りました。趣味で集めたJAZZCDやレコードを流すときが、一番のお気に入りです。



以前の和室は薪ストーブを楽しむ土間にリフォーム



- 建築場所／中泊町
- 県産材使用量／0.3㎡
- 県産材使用率／10%

- 設計・施工者(応募者)／企業組合県木住
- 住所／青森市浪岡大字徳才子字福田60-2
- TEL.0172-55-7793 FAX.0172-55-7559
- 木材調達先／齊藤木材(株)
- TEL.017-781-1148



キッチン・ダイニングも新しく



書棚を造り付けた書齋でくつろぐご主人

講評

この作品は、従来の住宅の骨格をそのまま活かし、断熱補強やリフォームを行った住宅となっています。

特に、和室二室を土間に改築し、薪ストーブを設置した空間について、「一般投票では「明るくて暖かそう」、「古さと新しさが融合している」、「土間に青森ヒバの床の木目がマッチしている」といった声が多く、リフォーム賞に選出されました。

(加藤委員長)

新築部門

作品 自然の香り つづく家



- 建築場所／青森市
- 県産材使用量／26.0㎡
- 県産材使用率／76.9%
- 設計・施工者(応募者)／企業組合県木住
- 住所／青森市浪岡大字徳才子字福田60-2
- TEL.0172-55-7793 FAX.0172-55-7559

リビングの7寸角の大黒柱は、お施主様が伐採体験で伐ったスギです。縄を巻き、猫たちの爪とぎ場として活躍しています。

その奥にはスギの木目が美しくイ草の香りが落ち着く真壁和室を備えました。

構造材は土台にヒバ、柱にスギ、梁にアカマツと全て青森県産材。床材に3cm厚の青森スギを使い、温かく優しい足触り。壁には青森県で水揚げされたホタテ貝の粉末を混ぜた漆喰。湿気や臭いを吸いつつくれるので、動物を飼っている臭いがしません。

リフォーム部門

作品 母のぬくもりの家

築年数は40年ほどの2階建て。冬は室内が底冷えし、各部屋も温度もまちまちなのを、「介護がしやすいあたたかい住まいに」がお施主様の希望。室内全体の断熱を強化し、1階は床暖房に対応して30mmの無垢のアカマツを張り、蓄熱効果で床全体から空間をやさしく暖めます。洗面脱衣室は香り豊かな「青森ヒバ」張り。「ヒノキチオール」



- 建築場所／八戸市
- 県産材使用量／0.0096㎡
- 県産材使用率／0.053%
- 設計・施工者(応募者)／南久保工務店
- 住所／三戸郡南部町大字杉沢字木戸口18-1
- TEL.0178-84-3797 FAX.0178-84-3812

成分で抗菌性とリラクセス効果が期待されます。